

常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第172号 2026年6月15日

2026年6月8日【ご利用者の皆さまとの懇談会】開催

美味しい新茶と水ようかんをいただきながら、たくさんのご意見を伺いました。



Q：面会時間が30分では短い。もう少し長くしてほしい。

A：コロナをはじめ感染症対策として時間制限を設けるのはまだ必要だと考えています。入居されている皆さまを守るためだにご理解いただきたいと思います。

Q：生のフルーツがもっと食べたい……。

A：果物は傷みやすかったり、好き嫌いの好みがはっきりしているため普段のお食事ではお出しするのが難しい事をご理解下さい。ビストロや喫茶のネオマルシェでおだしできるか検討します。乞うご期待！



結果：6月中旬より、ネオマルシェで提供できることになりました！



Q：外出行事やお買い物の機会がもっとあると良い。昨年の羽田は楽しかった。

A：外出行事については今年度も行事委員会で検討します。バーゲンも夏と冬の年2回、7月にもあるので楽しみにしてください。



Q：入浴日が変更になるときは事前に知らせてほしいです。

A：行事等で変更になることはあり得ます。必ず事前にお伝えするよう努めます。



また、あるご利用者からはこんなご意見も……

外国籍の職員さんが多くはじめは心配していたが、みんな優しいし言葉も丁寧。せめて感謝を伝えたいので、それぞれのお国の言葉で「ありがとう」を覚えてもらって話をしています。頭の体操にもなりますよ（笑）ちなみにミャンマー語では「チエーズーティンバーデ」というそうです。

ありがとうございます！ 皆さまからのお言葉が日々の励みや目標になります。



続続(ぞくぞく)
腰痛は頭と尻で治す。
ゆめが丘総合病院 リハビリテーション科
PT 間野和貴
2026年3月11日・4月10日

レジデンシャル常盤台
における春取りケア
2026年4月21日・火
社会福祉法人 若柳会
レジデンシャル常盤台
施設長 高橋 好美



要介護の基本的姿勢
・苦痛の軽減と安楽、安心のケア
・「その人らしさ」を尊重したケア
・チームケア = 家族もチームの一員
・丁寧な「説明と同意」として「記録」



実際に体を動かし、腰痛予防ストレッチを体験しました。

職員の声

- ・実際の現場で介助時の体の使い方や正しい姿勢を学ぶことができました。
- ・今回学んだことを生かして、腰痛予防に務めていきたい。

主催 労働安全衛生委員会

職員の声

- ・ご家族の心に寄り添い、声掛け・サポートが大切であると学びました。
- ・日々の関わり方、積み重ねが信頼に繋がっていると実感しました。
- ・ご希望に沿ったケアやご本人の思いを尊重することが重要と感じました。

主催 研修委員会

Only One

3番街 岡田泰弘さまの Only One

3番街にお住いの岡田泰弘様の onlyone。娘様が綴ってくださいました。

昭和7年、父は岡山県津山市で生まれました。父は音楽と演劇が好きで、高校では男性合唱団の指揮者として活動し、毎日コンクールで入賞したことがあるそうです。

やがて父は銀行に入ります。配属された大阪の支店で松竹新喜劇の担当となった父は、劇団の創立者であり座付作家・俳優でもある渋谷天外さんのお宅を訪問しては演劇談義に花を咲かせていたそうです。ある日天外さんから「私は浪花のシェイクスピアと呼ばれているが、君はどう思う」と問われた父は「シェイクスピアではなくモリエールだと思います」と思わず答えたところ天外さんは「私もそう思ってるんだ!」と意気投合。その後、松竹の文芸部に来ないかと誘われたほど気に入られたそうです。もともと演劇や芸能の好きな父は転職しようかと真剣に悩んだようですが妻（私たちの母）に一蹴されて諦めたとの事。

昭和38年、父は東京に転勤。典型的な昭和モーレツサラリーマンライフを送る傍ら、N響の定期演奏会に通い、オペラコンサートに大興奮し、チェロを熱心に練習するなどパーソナルライフも楽しんでいましたし、休日には私たち姉妹をいろいろなところに連れていってくれていました。このように生来エネルギッシュな父ですが、常盤台ではおだやかにゆったり過ごしている時間が何よりの onlyone のひとときです。

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人” etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します!



編集後記

今夏はエルニーニョ現象（異常気象が起きやすい）とのこと。さて、どうなることやら……